

上：熱演する篠路中央保育園の園児（篠路子ども歌舞伎）
 下：観客を魅了する新琴似歌舞伎伝承会の会員と新琴似
 中学校生徒の演技（新琴似歌舞伎）



伝統文化の保存・継承 ～守り続ける地歌舞伎の競演～



北区には、地歌舞伎や藍染めなど、後世に残したい伝統文化の歴史があり、区民の皆さんによる保存・継承活動が盛んに行われています。

1月には、篠路歌舞伎（篠路子ども歌舞伎）の復活25周年、新琴似歌舞伎の復活15周年を記念した合同公演「座・歌舞伎伝統芸能フェスタ」を開催、多くの観客が会場を訪れました。

こうした活動に対し、北区では、資金の助成やイベントのPRなど、さまざまな形で支援を行っており、これからも地域の魅力を発信する取り組みを支えます。

かつて、亜麻に関わる産業が栄えた歴史をしのび、亜麻の花でまちを飾ろうと、区民の皆さんや企業などと北区が一緒に取り組む「亜麻のフラワーロード事業」。昨年度は、鉄西地区や麻生地区、新琴似地区に加え、新たに太平百合が原地区でも行われました。



上・右：地域で亜麻を植える住民の皆さん

あま まちを彩る亜麻のみち ～亜麻のフラワーロード事業～



リサイクルの推進 ～廃食油から作るBDF～



※BDF：バイオディーゼル燃料
 (Bio-diesel Fuel)
 リリートレイン（百合が原公園内を走る遊覧鉄道）や市のごみ収集車の燃料などで活用されます。

北区では、BDF※にリサイクル可能な廃食油の回収を推進しています。これまでにリリートレイン約3200周分が集まりました。また、当別町と連携し、同町運営のコミュニティバスの燃料（原料）として提供することで、亜麻の種と交換しています。

なお、廃食油の回収ボックス（500mlペットボトル用）は、区役所やまちづくりセンターに設置していますので、今後ともご協力をお願いします。

